

令和 5 年 3 月 1 日

令和 5 年第 1 回神奈川県議会定例会

国際文化観光・スポーツ常任委員会報告資料

スポーツ局

目

次

ページ

1	本庁機関の再編について	1
2	神奈川県スポーツ推進計画（エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン） の見直し案について	2
3	第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022） の終了後の対応について	4

1 本庁機関の再編について

令和5年度に向け、次のとおり組織再編を実施する。

(1) 再編の内容

ア ねんりんピック課の廃止

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会の終了に伴い、ねんりんピック課を廃止する。

現 行	再編後
<p>【スポーツ局】</p> <ul style="list-style-type: none">— 総務室— スポーツ課— <u>ねんりんピック課</u>	<p>【スポーツ局】</p> <ul style="list-style-type: none">— 総務室— スポーツ課— [廃止]

(2) 再編の時期

令和5年4月1日

2 神奈川県スポーツ推進計画(エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン)の見直し案について

神奈川県スポーツ推進計画(エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン)は、令和4年11月に見直し修正素案をとりまとめ、12月の第3回県議会定例会国際文化観光・スポーツ常任委員会に報告した。

その後、神奈川県スポーツ推進審議会での審議を踏まえ、見直し案を作成した。

(1) これまでの経過

- 令和4年7月12日 国際文化観光・スポーツ常任委員会へ見直し骨子案を報告
- 8月29日 神奈川県スポーツ推進審議会で見直し素案について審議
- 9月28日 国際文化観光・スポーツ常任委員会へ見直し素案を報告
- 9月29日 県民意見反映手続きを実施(～10月28日)
- 10月11日 市町村意見照会を実施(～10月28日)
- 11月21日 神奈川県スポーツ推進審議会で見直し修正素案について審議
- 12月9日 国際文化観光・スポーツ常任委員会へ見直し修正素案を報告
- 令和5年1月25日 神奈川県スポーツ推進審議会で見直し案について審議

(2) 見直し案の概要

※下線部は見直し修正素案から追加した箇所

<p>I 計画策定の考え方</p> <ol style="list-style-type: none">1 スポーツの意義と効果2 計画策定及び見直しの趣旨3 計画の位置付け4 計画の目標年度5 計画における「スポーツ」の捉え方 <p>II スポーツを取り巻く現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none">1 社会の動向2 本県におけるスポーツの状況3 計画の総合的評価（これまでの取り組みの成果と課題） <p>III スポーツ推進の展望</p> <ol style="list-style-type: none">1 基本目標2 数値目標3 施策の基本的な方向	<p>IV スポーツ推進の施策展開</p> <ol style="list-style-type: none">1 スポーツ推進の施策・事業体系2 スポーツ推進に向けた施策・事業 <p>視点1 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進</p> <p>視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進</p> <p>視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現</p> <ol style="list-style-type: none">3 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項 <p>V 資料</p> <ol style="list-style-type: none">1 <u>用語解説・索引</u>2 <u>計画の策定経過</u>3 <u>神奈川県スポーツ推進条例</u>4 <u>かながわパラスポーツ推進宣言</u>5 <u>ともに生きる社会 かながわ憲章</u>
--	---

(3) 見直し案

別添参考資料3「神奈川県スポーツ推進計画『エンジョイ・スポーツ！かながわプラン』見直し案」のとおり

(4) 今後の予定

令和5年3月 スポーツ基本法第10条（※）に基づく教育委員会照会
神奈川県スポーツ推進審議会より答申
神奈川県スポーツ推進計画の見直しを決定

※スポーツ基本法第10条（第2項）

2 特定地方公共団体の長が地方スポーツ推進計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、当該特定地方公共団体の教育委員会の意見を聴かなければならない。

3 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）の終了後の対応について

ねんりんピックかながわ 2022 終了後、交流大会やスマイリングフェスタなどの会場で実施したアンケートの集計や経済波及効果の推計を行い、現在は大会報告書の作成などを進めている。

(1) 来場者数

延べ約62万人	
総合開会式	約 12 千人
スマイリングフェスタ	約 496 千人
交流大会	約 115 千人
総合閉会式	約 1.5千人

(2) アンケートの集計結果

大会の印象や感想、行動変容・消費動向を把握するため、交流大会の参加者及びイベント等に来場した方等に対して、大会期間中にアンケートを実施した。

ア アンケートの回答者数

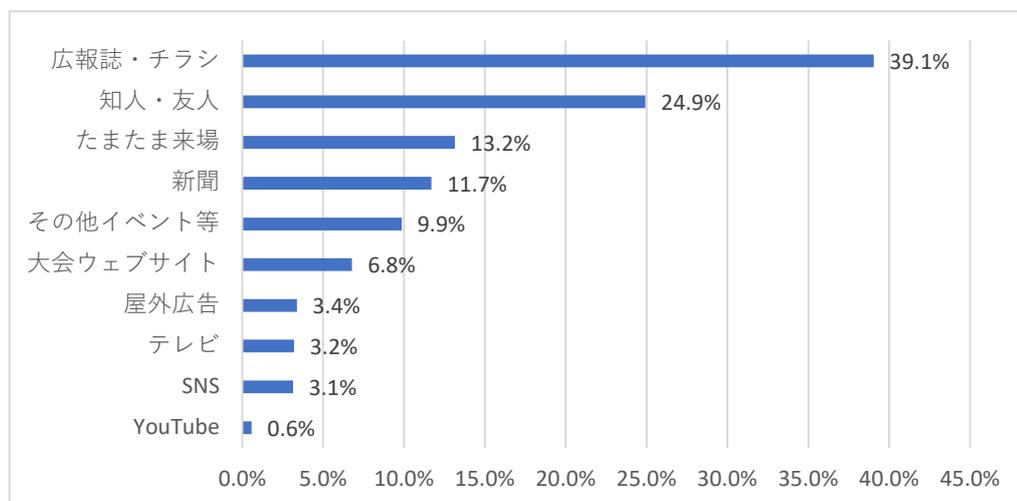
(ア) 一般来場者：4,514人

(イ) 大会参加者：5,136人（県内：601人、県外：4,535人）

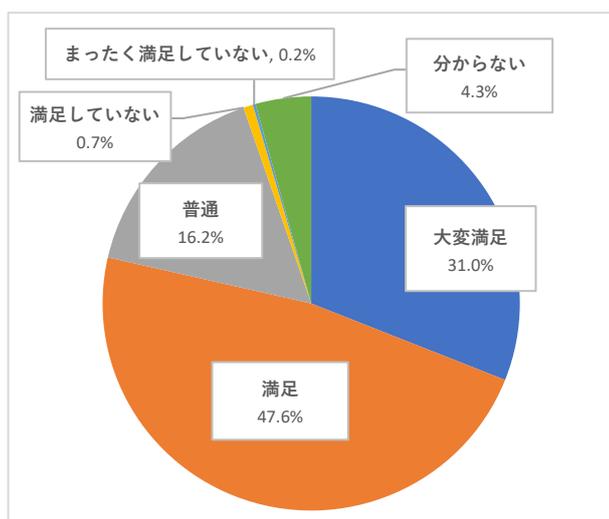
イ 主な結果

(ア) 一般来場者関係

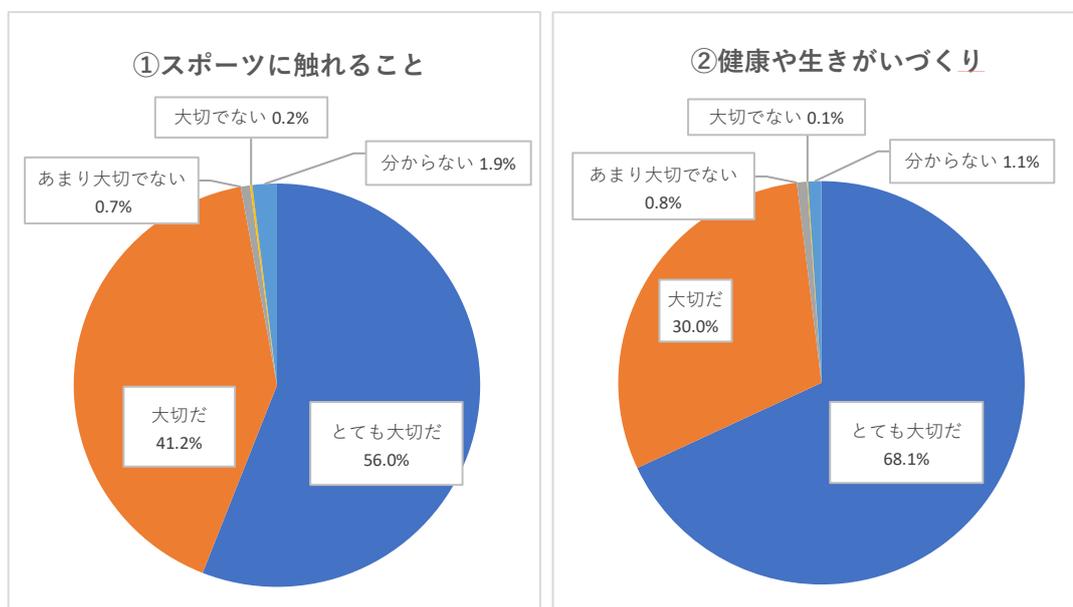
a 大会を知った方法（複数回答）

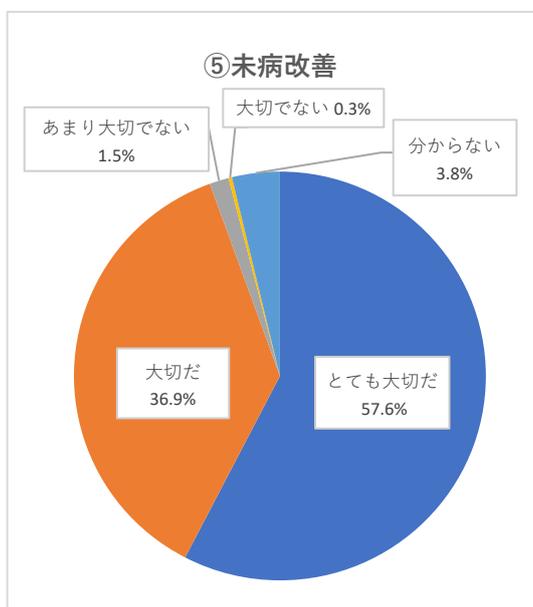
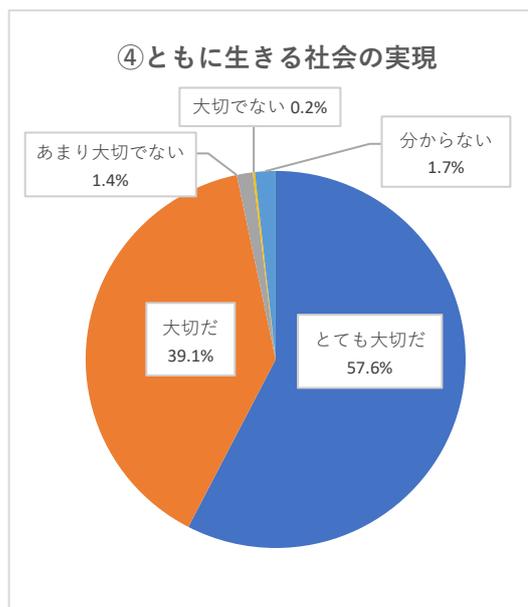
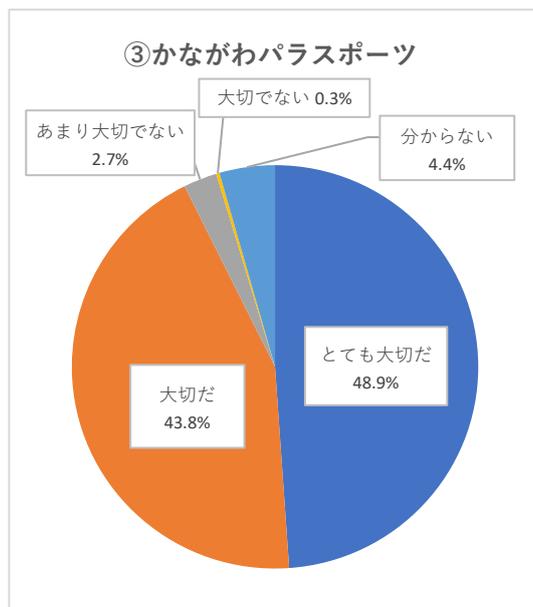


b 大会に関する感想

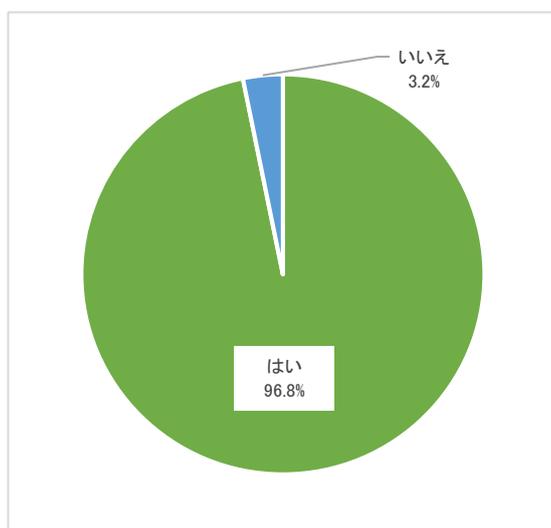


c 大会を通じて各項目に関してどのように感じたか

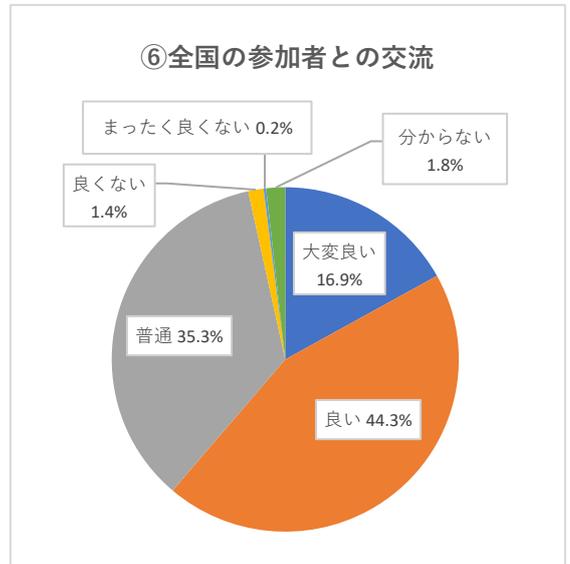
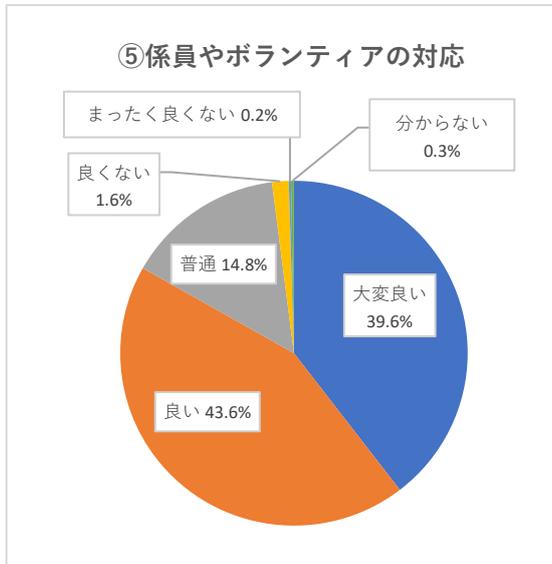
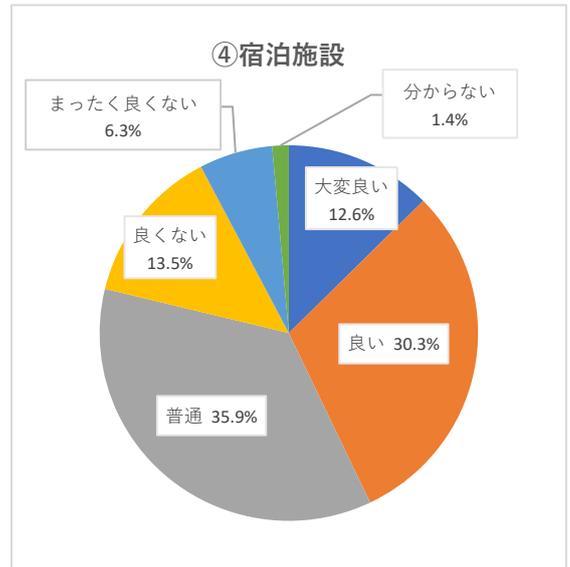
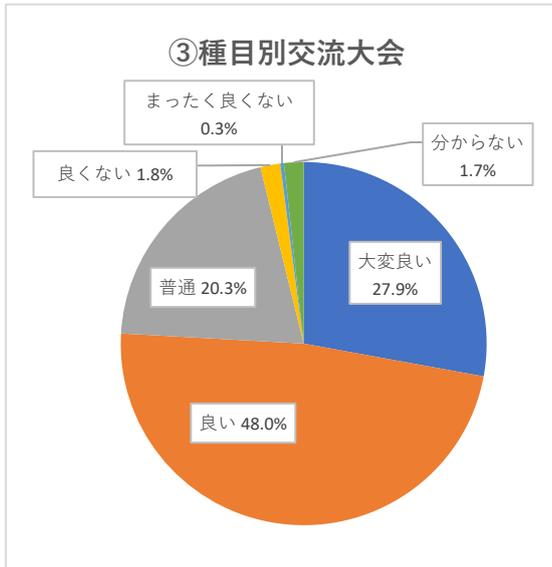
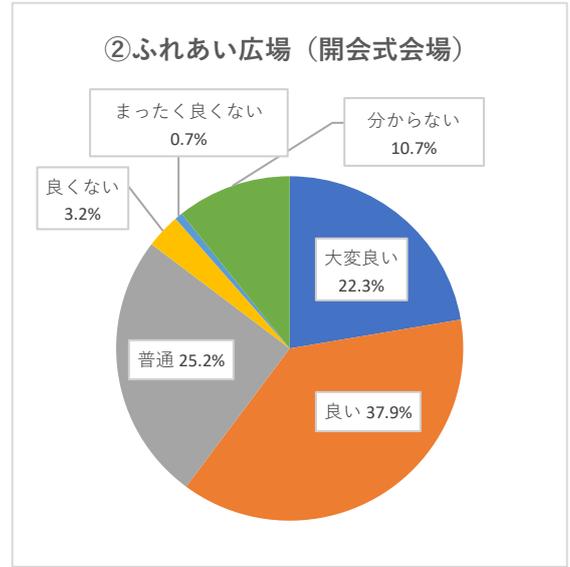
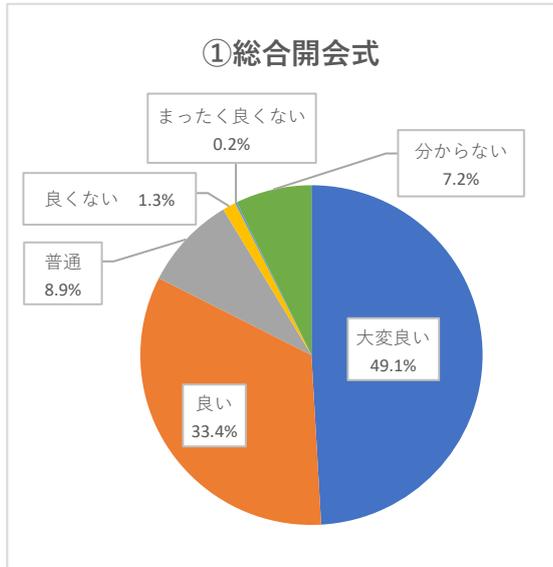


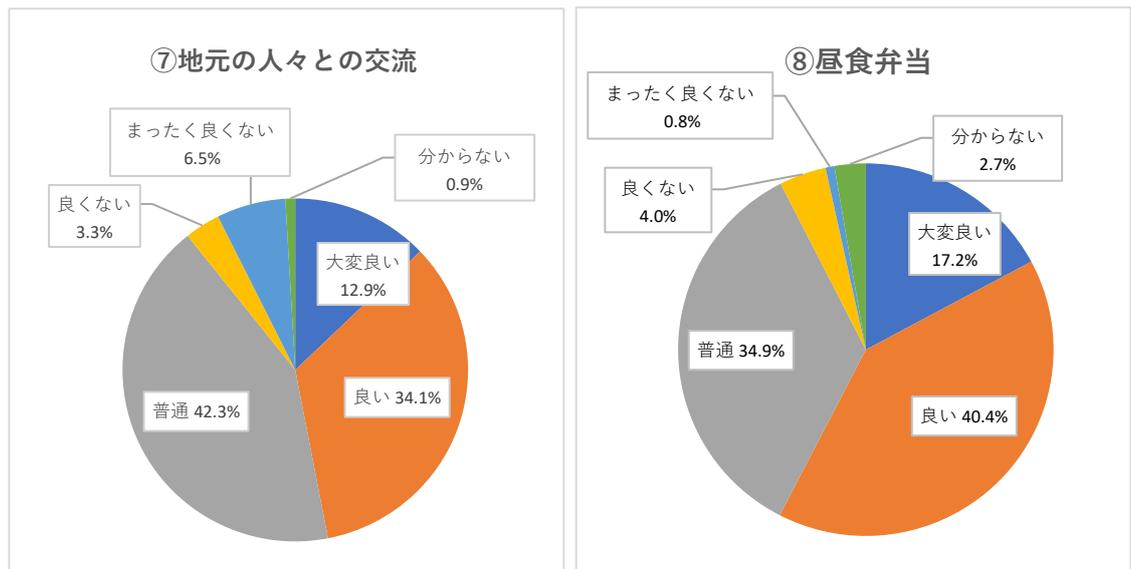


(イ) 県外からの大会参加者関係
a 再来県意向



b 各項目に関する感想





(3) 大会の経済波及効果

県及び交流大会開催26市町の大会運営に要した経費並びに大会アンケートの結果から算出した大会参加者等の消費支出額を基に経済波及効果を推計した。

経済波及効果推計額 約111億2,900万円

(4) 大会報告書の作成等

大会における選手の活躍、総合開会式・閉会式や各会場での様々なイベントの状況、大会運営に関する情報等を記録するため、大会を振り返る写真や交流大会の成績一覧、イベントの実施状況、開催経過などを記載した大会報告書を作成している。

また、大会に向けて作成した文書や冊子、物品等を県立公文書館や県立歴史博物館などに引き継ぐ作業を進めている。